



Vol. 144

こんにちは としよかんです

発行 延岡市立図書館 〒882-0812 延岡市本小路39-1
TEL 0982-32-3058 FAX 0982-22-0644

2023年



あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



ふくろう通りの企画展

千支にちなんだ本展

【展示期間】1/4 (水) ~ 2/2 (木)

今年の千支は「卯(うさぎ)」です。
ウサギの登場する絵本や物語、十二支に関する伝承などの本を展示します。

展示予定の本



『うさぎ こわーい』

松橋 利光//写真・文 こば ようこ//絵 (アリス館)
かわいい顔して目がこわい、後ろ足で床を踏み鳴らすのがこわい…。うさぎがこわい「ぼく」の目から見たいろいろな姿のうさぎを描いた絵本。



成人の日におすすめる本展

【展示期間】1/4 (水) ~ 2/2 (木)

1月9日(月・祝)は「成人の日」です。図書館では毎年成人の日にあわせて、これからの人生を歩んでいく新成人の皆さんへ、様々な本に出会えるように、人生訓や小説、実用書など幅広くおすすめる本を展示します。

もちろん新成人のみならず、すでに成人を迎えた大人の皆さんも楽しめる展示となっております。

この機会に、新たな本との出会いを探してみませんか。

展示予定の本



『最後の一年』

緊急事態宣言-学生アスリートたちの闘い
毎日新聞運動部//著 (毎日新聞出版)

競技生活の集大成となる最終学年選手たちに焦点を当てた1冊。コロナ禍という危機の中でも懸命に歩み続ける選手たちを描いた記録。



大河ドラマ「どうする家康」関連展

【展示期間】1/4 (水) ~ 2/2 (木)

2023年の大河ドラマ「どうする家康」にあわせて、徳川家康特集を行います。徳川家康の伝記や小説などを展示しますのでぜひご覧ください!

デジタル化した延岡新聞(一部)の公開を始めました!!



延岡市立図書館が所蔵している、『延岡新聞』は過去の地元紙で、当時の出来事や郷土の歴史を知るうえで貴重な資料です。国立国会図書館にある一部を除くと、当館にしか所蔵されていません。

この『延岡新聞』を後世に残し、いつでも皆さんに提供できるよう新聞のデジタル化に取り組んでいます。新聞は時代によってサイズが異なりますが、昨年度からA3サイズ未満の延岡新聞のデジタル化作業を始め、昨年の12月22日に図書館内での公開を開始しました。



延岡新聞(画像)

＼デジタル化した新聞の一部を公開中!／

【公開している延岡新聞】

- ・昭和 5年 1月~昭和 7年 5月
 - ・昭和23年11月~昭和26年6月
 - ・昭和29年1月~昭和30年12月
- ※欠号している部分があります。

図書館内にデジタル化した新聞閲覧用パソコンを設置していますので、ご覧になりたい方は、図書館カウンターまでお声掛けください!!

(閲覧には申込書の記入が必要です)

今後は著作権の範囲内でA3サイズ以上の新聞や延岡に関する様々な資料のデジタル化を順次行っていく予定です。公開の際には改めて皆さんにご報告しますので、もうしばらくお待ちください。

学ぶことを楽しもう！ ～おすすめ本の紹介～



新年のスタートに合わせ、新しく何かを始めようとテーマ探しをしている人が多くなる1月。意外にも日常抱く疑問の中に面白いテーマが隠されていることもあるものです。さて、何やら図書館にも疑問を解決しようと相談に来られた方がいるようですよ☺

お正月の話なんですけど、「今年は勉強がんばろうね！」って子どもに言ったら「どうして勉強しなくちゃいけないの？」って言われちゃって…うまく答えられなかったんです。



こんな疑問に答えてくれるような本って図書館にありますか？



それは困りましたね。では、こちらの本はいかがでしょう？



『なんで勉強するんだろう?』 齋藤 孝//著 (幻冬舎)

子どもからの「なんで?」は大人にとって説明できないことを学ぶチャンス!! タイトルどおり、なんで勉強するのかを教科ごとに解説。子ども向けに書かれていますが、大人も学ぶことができます。知らなかったことがわかる楽しさ、学ぶことは楽しいことなんだという気づきを親子で共有できる1冊です。

こんな本があるんだ!! ルビも振ってあるし、子どもの質問にぴったりで読みやすそうです。今日はこの本を借りて帰って、子どもと一緒に読んでみたいと思います。



喜んでいただけて良かったです。ぜひ、お子さんと一緒に楽しく読んでください♪



2023年スタートの今号に、延岡市教育委員会の澤野教育長よりおすすめ本の紹介とメッセージをいただきました。教師であった澤野教育長は、教える人、学ぶ人両方の視点から学びについて考える2冊の本を紹介されています。ぜひお読みください。



澤野教育長の おすすめ本とメッセージ

18才で延岡市を訪れたことのある安井息軒は、三計の教えを「一日の計は朝にあり、一年の計は春(元旦)にあり、一生の計は少壯の時にあり」と説きました。

この言葉には、息軒が生涯学び続けることの大切さを込めたように感じます。

今回紹介する本は、指導者の視点で書かれた『教えるということ』大村はま//著(共文社)と、学習者の視点で書かれた『人はいかに学ぶか』稲垣佳代子・波多野誼余夫//著(中央公論社)の2冊です。

前者の著者である大村氏は、「研究をせず、(身の程を知らずに伸びたい人である)子どもと同じ世界にいない先生は、まず「先生」として失格だと思います」と手厳しく、また、「禁句『わかりましたか』」に象徴されるように、先生自身が専門職としてのプライドを持つことを自分への戒めとともに述べています。この本は昭和48年に初版本が刊行されたのですが、その主張は全く色あせていません。

一方、後者の著者稲垣氏・波多野氏は、認知科学の知見から、人がいかに有能な学び手なのかを論じています。「効果的に知識を身につけるためには、まず教える人がいなくてはならない。」という伝統的な学習に対する考え方から、「人は元来知的好奇心に満ち有能な学び手である。」という新しい考え方を展開します。生まれながらことばや計数についての学びを自然と行っていることや、文化によって求められる知識や技能が効率的かつ効果的に得られること、そして学びの熟練化には他者の存在がさらに学びを深めるために重要な役割を果たしていることを指摘しています。

一見相反する内容ですが、指導者と学習者双方の「学び」に視点を当てている点では共通しています。生涯学習社会において、私たちの学びは学校教育だけではなく社会教育や家庭教育でも続いていきます。いずれの本も新年のスタートにあたり、改めて「学ぶ」ことの意義を問い直す良書です。

学びの場としての公立図書館。本年も市民の皆さまと多くの本との出会い、そして新たな学びの創出があることを心より祈っております。



おすすめの本



『教えるということ』
大村はま//著
(共文社)



『人はいかに学ぶか』
稲垣佳代子//著
波多野誼余夫//著
(中央公論社)

新刊案内(一般書・YA向け図書)

< 一般書 >



『全国温泉大全 湯めぐりをもっと楽しむ極意』 松田 忠徳//著(東京書籍)

これまでに4000以上の温泉に浸かった温泉教授がおくる、湯めぐりバイブル。入浴作法や外湯めぐり、泉質や効能など、「温泉場」を楽しむ極意を伝える。全国の温泉施設を700軒以上掲載。データ:2022年9月現在。



『娘が理解できません 大人になった娘のために、母親は何ができるか』

岩井 俊憲//著(小学館クリエイティブ)

アドラー心理学の第一人者が、大人になった娘との関係に行き詰まりを感じている母親に贈る処方箋。母と娘に距離ができてしまう理由や、こじれた母娘の心理などについて解説し、母親がいまからできることを紹介します。



『脳がどんどん強くなる!すごい地球の歩き方』 高島 明彦//著(地球の歩き方)

認知予備能を強化してアルツハイマー型認知症の発症を予防する方法を紹介。「映像を思い出しながらのロケ地巡り」「旅した場所の魅力を説明」「古地図で散歩」など、旅先や近所、自宅で行えるトレーニングを多数紹介する。



『イラスト日記の描き方帖』

1日5分 ゆるかわボールペンイラストで毎日がワクワク!』 おちゃ//著(玄光社)

イラスト日記とは、マンスリー手帳の1コマに、その日の出来事をイラストで残す日記のこと。年間行事や二十四節気、食べ物、動物、風景など、約700点の実例イラストを収録する。



『家康の海』 植松 三十里//著(PHP研究所)

西欧諸国の思惑、朝鮮との国交回復、日本を平和に導いた外交戦略…。ウィリアム・アダムスと朝鮮貴族の娘・おたあの視点を交えて、徳川家康の知られざる姿を描く。



『個独という生き方』 下重 暁子//著(東京新聞)

渥美清、田中角栄、野際陽子、和田誠…。政治、文学、音楽、医療、芸能などさまざまな分野で活躍した人々との交流から、豊かな明日のあり方を見つめる。著者の半生も振り返る。『暮らすめいと』掲載に加筆。

< YA(ヤングアダルト) >



『13歳から考える住まいの権利 多様な生き方を実現する「家」の話』

葛西 リサ//著(かがわ出版)

お金がなければ、住まいがなくても仕方ない? 住宅に困る人がいるのに、どうして空き家があるの? 空き家活用、居住支援、シェアハウス、団地再生…。SDGsとも深く関わる住宅問題の今とこれからをわかりやすく解説する。



『プロの履歴書からわかる生きものの仕事』 松橋 利光//著(山と溪谷社)

生きものの仕事につきたい人、必見! 飼育員、獣医師、ペットショップ店員、研究者…。生きものの仕事のプロ80人に「なぜその道を選んだか」「どうやってその仕事についたか」などを取材し、履歴書形式で紹介する。

新刊案内(児童書・郷土資料)

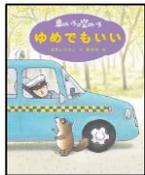
〈児童書〉



『**読書ってこんなに楽しいの!? 齋藤孝流とっておきの本の読み方**』 齋藤 孝//著 (小学館)
 「視点をもつ」ことを意識して本を読むと、深く読めるだけでなく、いろいろな角度から本を読み解ける。10の名作についてとっておきの読み方を紹介するほか、読書のいいところや、読書感想文の書き方、ブックリストも掲載。



『**光るマウスが未来をかえる おはなしサイエンス 遺伝子工学**』 森川 成美//作 石井 聖岳//絵 (講談社)
 遺伝子は「いのちの設計図」! 鍛人のおばあちゃんががんで入院。遺伝子治療を受けるための検査をすることになり…。「遺伝子工学」と小～中学校で学ぶ理科の内容との関連を解説する「ひとくちメモ」も収録。



『**車のいろは空のいろ ゆめでもいい**』 あまん きみこ//作 黒井 健//絵 (ポプラ社)
 空いろのタクシーの運転手・松井さんと、ふしぎなお客さんたちとの出会いを描いた童話集。だれの心にもあたたかくよりそうファンタジーの名作。「ゆめでもいいゆめでなくてもいい」など3編と、書き下ろし4編を収録する。



『**あやし、おそろし、天獄園 銭天堂番外編**』 廣嶋 玲子//作 jyajya//絵 (偕成社)
 「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」シリーズに登場した「怪童」が経営する遊園地「天獄園」が舞台のスピノフ作品。遊園地のお試しチケットに招かれた、6人の恐怖体験を描く。



『**きみだけの夜のともだち**』 セング・ソウン・ラタナヴァン//作 西 加奈子//訳 (ポプラ社)
 闇が怖いガスパール。「夜だけのともだちがいてくれればなあ」と思っていたら、小さなネズミが現れました。そしてふたりは、夜だけのともだちを探しに冒険へと出かけ…。夜がちょっぴり怖い子どもたちへ贈る絵本。

[情報提供: 図書館流通センター]

〈郷土資料〉



『**懐かしき宮崎の駅スタンプ**』 土持 孝博//著 (オードリーハウス)
 各駅に置かれているスタンプには、時代によってその市、町のキャッチフレーズが楽しめる。日豊本線や都城線、日南線などの各駅の当時の駅風景も一緒に楽しめる1冊。延岡駅のスタンプも収録。

延岡市立図書館カレンダー

1月

月	火	水	木	金	土	日
						1 年末年始休館
2 年末年始休館	3	4 えほんのじかん	5 おはなし会	6 資料整理 休館日	7	8
9 祝日開館	10	11 えほんのじかん	12 おはなし会	13	14	15
16 休館日	17 こども 映写会	18 えほんのじかん	19 おはなし会	20	21	22
23 休館日	24	25 えほんのじかん	26 おはなし会	27	28	29
30 休館日	31					

2月

月	火	水	木	金	土	日
		1 えほんのじかん	2 おはなし会	3 資料整理 休館日	4	5
6 休館日	7 こども 映写会	8 えほんのじかん	9 おはなし会	10 市制90周年16mm映写会	11 祝日開館	12
13 休館日	14	15 えほんのじかん	16 おはなし会	17	18	19
20 休館日	21 こども 映写会	22 えほんのじかん	23 祝日開館	24	25	26
27 休館日	28					

開館時間 【火～金】9:00～19:00 【土日祝】9:00～17:00 ※時間外の返却は、返却ポストをご利用ください

【えほんのじかん】10:30～11:00 対象:0～3才程度 【おはなし会】16:00～16:30 対象:未就学児 場所:おはなしのへや

【こども映写会】毎月第一・第三火曜日 15:00～15:30 (約30分) 場所:おはなしのへや



図書館HP



Instagram